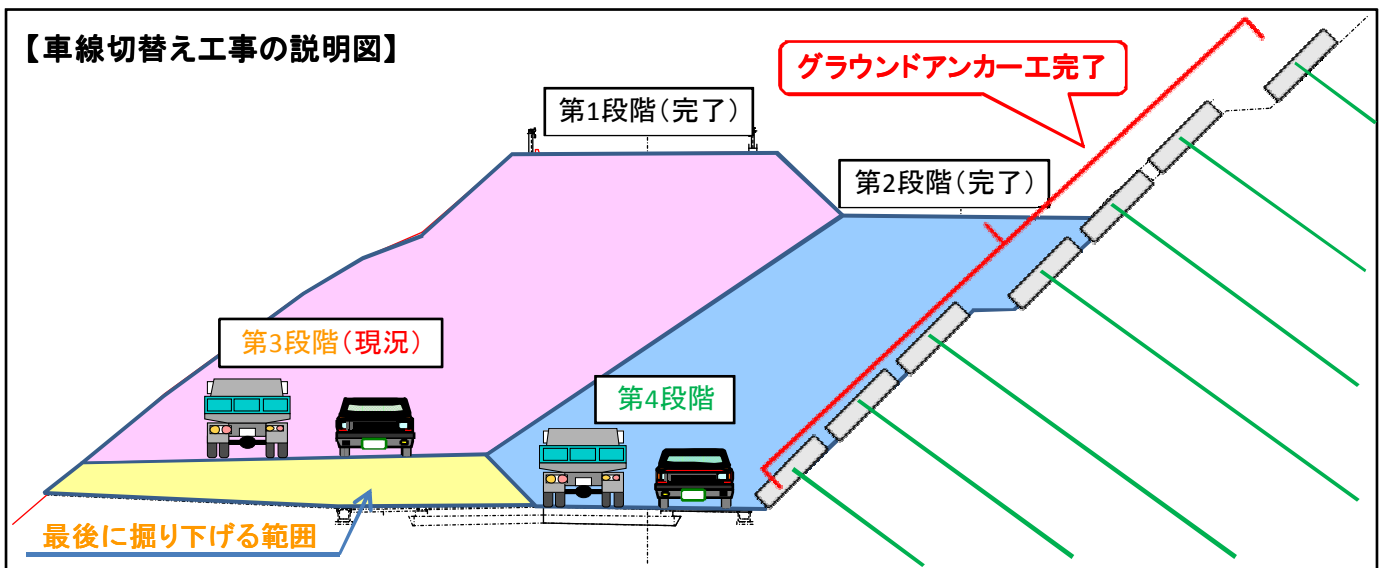


いわき石川線（上釜戸工区）大規模地すべり災害復旧工事 最新情報

1. グラウンドアンカー工の施工がまもなく完了します！

現在、『第4段階』へ移行するための掘り下げ工事と法面補強工事（グラウンドアンカー工）を行っておりますが、4月末で575本全てが完了する見込みです。アンカー工の施工においては、受圧板寸法が約3m角、重量約5.3tと大きく、かなり苦勞しましたが、昨年8月の着工から約9ヶ月間、現場に携わる全員が、細心の注意を払いながら施工し、無事完了する運びとなりました。

今後は、被災した舗装、排水構造物等を撤去し、車線切替えの最終段階である『第4段階』に向け、新たに道路を造り直して行きます。

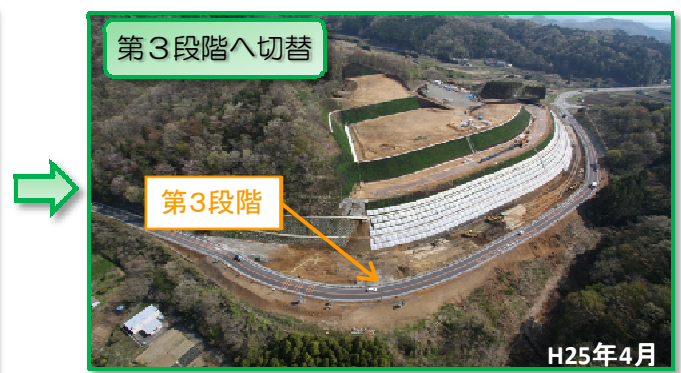
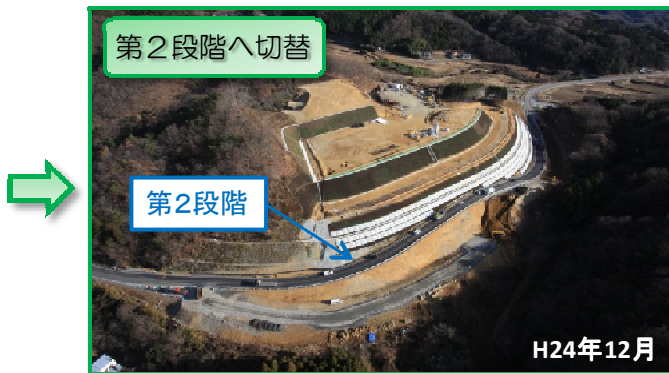


全景写真（平成25年4月22日撮影）



2. これまでの工事経過について

法面補強工事（グラウンドアンカー工）が完了し、一区切りつきましたので、これまでの工事経過を車線切替えの段階毎に航空写真で紹介いたします。



3. 低気圧による記録的大雨の対応

4月6日から7日にかけて、低気圧の影響で全国的に大荒れの天候となりました。いわき市においても、1時間に約90mmの降雨量を観測した場所もあり、観測史上最高の記録となりました。各地で冠水や土砂崩れ等の被害がでましたが、幸いにも上釜戸工区においては、大きな被害は発生しませんでした。これも日頃からの防災対策と当日の巡回点検のおかげだと思います。また、現場周辺道路においては、至る所で土砂や枯木等の流出により、安全な交通の確保が困難な場所があったため、現場従事者にて流出物の撤去、清掃作業を夜通し実施しました。大変お疲れ様でした。

流出物の撤去・清掃作業状況



4. 「神奈川県」の現地視察会が開催されました

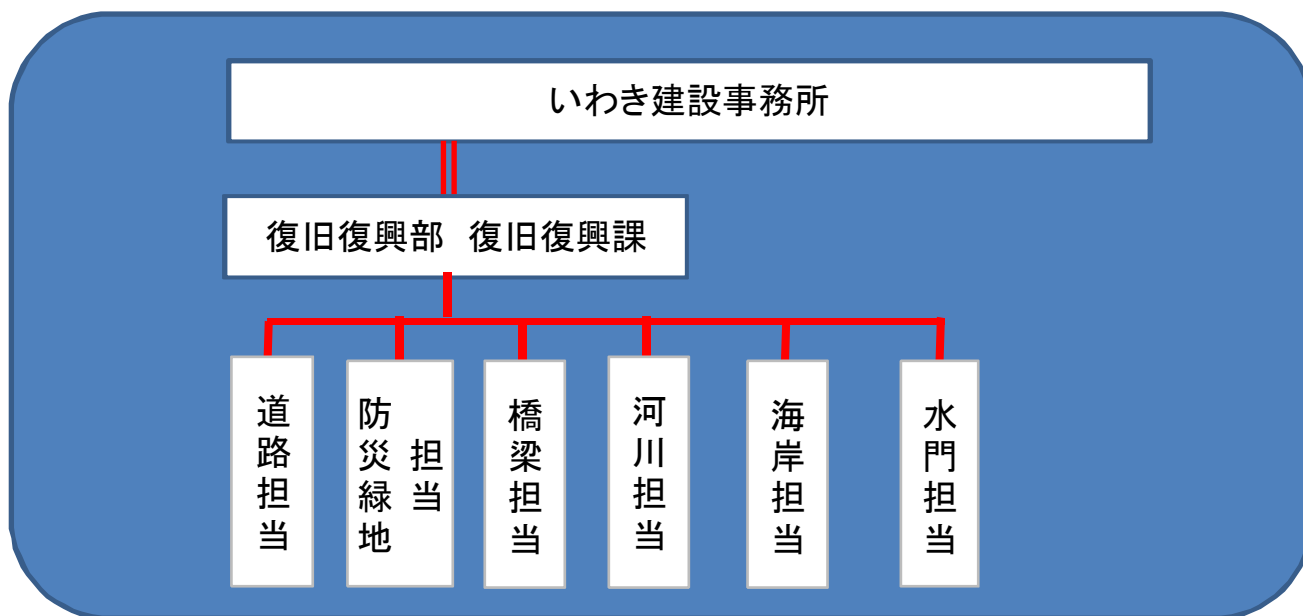
4月24日に「神奈川県庁」の方が、派遣職員の激励とともに現地視察を行われました。4月の人事異動により、神奈川県から8名の方を派遣していただいております。道路・河川・学校の災害復旧に取り組んでいるところです。被災から丸2年を迎え早期の復興に向けて一致団結していききたいと思います。



5. 平成25年度の事務所体制が変わりました

春の定期人事異動により、いわき建設事務所 復旧復興課が新たな体制でスタートしました。これまで、道路・河川・海岸の3係編成でしたが、新たに橋梁・防災緑地・水門を加えた6係31名体制となりました。被災箇所の復旧と沿岸地域の復興事業を1箇所に集約することにより、復興に向けた動きを加速するとともに、問い合わせなどにワンストップで対応することを目的としています。

また、1都7県より13名の方々が支援のため派遣されており、全国の知恵を結集して、いわき地域の復旧復興に向けたまちづくりを進めてまいります。



【事務担当】復旧・復興課 道路担当 主任主査 白岩十三雄 電話：0246(35)6075
【施工者】渡辺・常磐開発・福浜大一特定建設工事共同企業体 現場代理人 猪狩正二